

現在、船迫窯跡公園では開園十周年記念特別展「古代瓦の美」が開催されています。今回はそのみどころを紹介しましょう。

### ◎古代豊前国に花開いた仏教文化

これまで発掘調査等により十四力所の古代寺院が発見され、その数は九州では大宰府周辺に次いで多く、屋根瓦には朝鮮半島や近畿地方の影響が色濃く見られるのが特徴の一つです。

### ◎渡来文化と古代寺院

天台寺跡（田川市）や垂水廃寺（上毛町）そして塔ノ熊廃寺（中津市）では朝鮮半島の新羅（しらぎ）国の影響を受けた華麗な蓮華・唐草文様を組み合わせた瓦が見つかっています。古代豊前国は香春岳の採銅や船迫窯跡の窯業、松丸F遺跡の製鉄など朝鮮半島の先進技術がいち早く導入された地域で、渡来した人々により伝えられました。草創期の古代寺院もこうして渡来系の人々によって創建されたと考えられます。

### ◎畿内中央政権の影響

宇佐郡の古代寺院で出土する瓦は近畿地方の影響が強く見られ、弥勒寺（宇佐神宮の神宮寺）や法鏡寺廃寺（宇佐市）では法隆寺と同じ忍冬唐草文（スイカズラのツルが絡む文様）の入った軒平瓦が出土し、虚空蔵寺跡（宇佐市）では川原寺跡（奈良県明日香村）と同じ文様の軒丸瓦も出土して

います。当時、宇佐神宮は畿内中央政権と政治的に密接な関係にあった影響と思われる。

### ◎船迫窯跡と豊前国分寺

聖武天皇の時代になり、全国に国分寺が創建されました。豊前国分寺は記録から七五六年には完成していたと考えられ、創建期の瓦は築上町の船迫窯跡で生産されました。官宮の寺なので、遠の朝廷「大宰府」の影響が強いのももちろんですが、豊前国分寺の場合は豊前国の一の宮でもあった宇佐神宮の影響が出土する瓦の文様に表れています。（文化財保護係 馬場克幸）



◀虚空蔵寺跡（宇佐市）出土磚仏（せんぶつ）展示中  
仏堂の壁面一面にタイル状に貼られた。壺坂寺（奈良県南法華寺）と同じ范型で製作されている。

## 船迫窯跡公園開園

### 10周年記念特別展が開催中

12月6日まで、船迫窯跡公園体験学習館で、開園10周年記念秋の特別企画展「古代瓦の美」絶賛開催中です!!!



## きんからかみ ●金唐紙ワークショップ参加者募集

### ～旧藏内邸仏間を彩る金唐紙を製作します～

旧藏内邸の壁紙を復元した際の版木棒等を使って「打ち込み」から彩色まで仕上げます。できあがった金唐紙はお持ち帰りいただけます。



日時 11月28日（土）  
10:00～16:00頃（受付9:30～）  
場所 旧藏内邸内 宝蔵  
定員 20名（定員になり次第締切）  
参加費 2,300円（入館料300円を含みます。当日徴収します）  
申込方法 電話事前申込をお願いします。  
服装 絵具やニスを使います。汚れてもいい服装でご参加ください。昼食・お茶等は各自で事前に準備のうえ、ご参加ください。  
申込・問い合わせ 築上町教育委員会 文化財保護係（52）3771